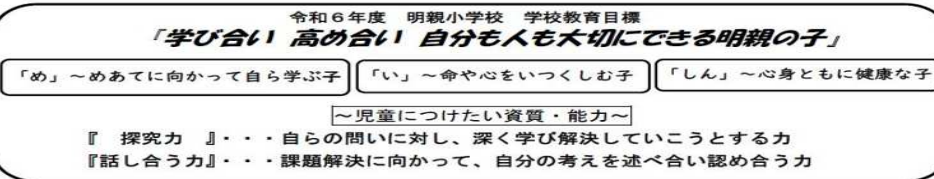


明親学校だより 臨時号



令和7年3月3日
京都市立明親小学校
校長 鷹羽 一彦
☎ (075) 631-2077

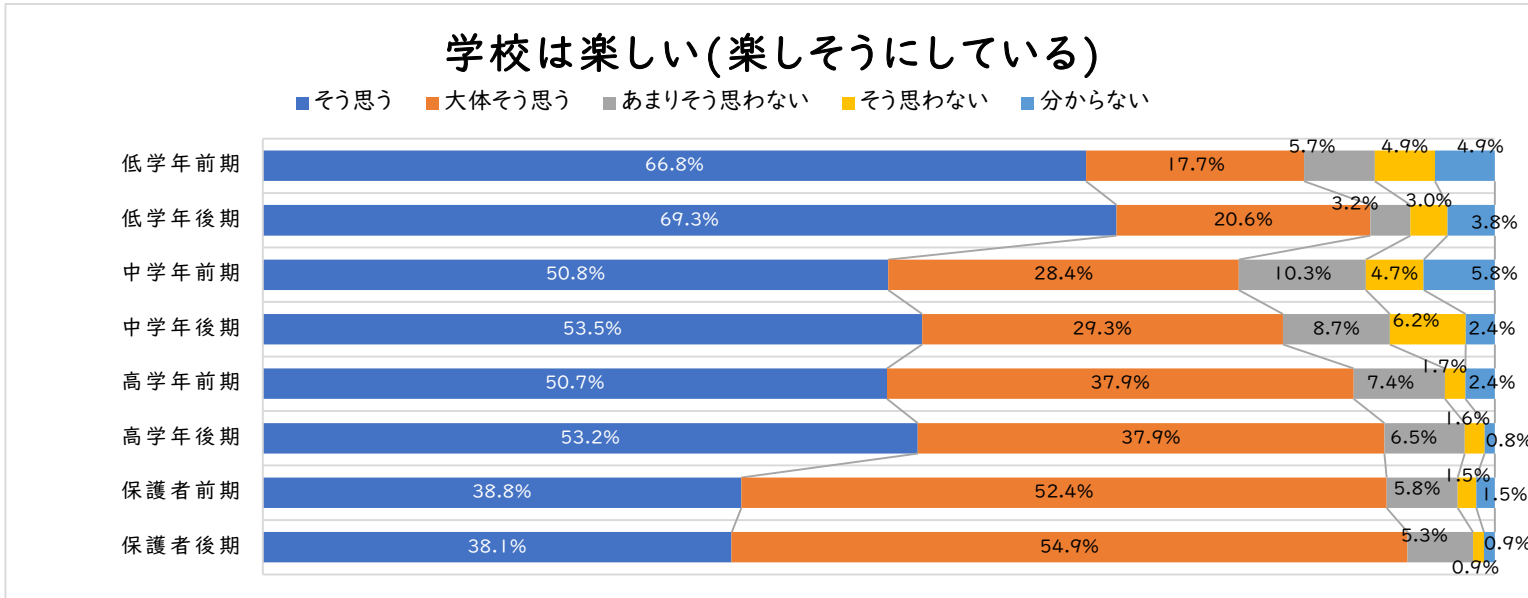
春寒の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育に、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度、オンラインでの第2回目学校評価アンケートを行いましたところ、快くご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、年間2回実施を企画しています。今回は後期学校評価アンケートの結果をお知らせ致します。

今年度は児童を低・中・高学年と3つに分け、結果をグラフと数字でお伝えさせていただきます。ご了承ください。

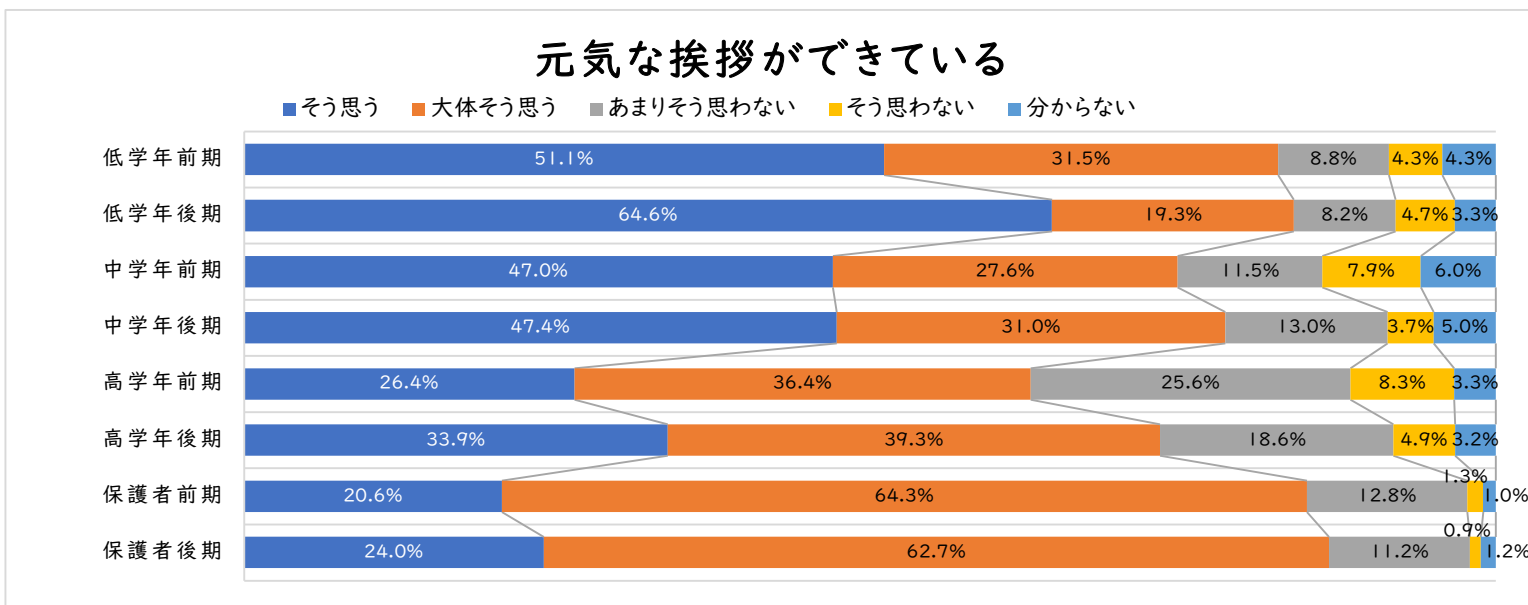
○学校は楽しい。

前期と比較すると、全学年において学校が楽しいと感じている子どもたちが増えています。後期は学校行事も多数あり、充実した学校生活を送れたからではないでしょうか。また、およそ9割の保護者の皆様からは子どもが楽しそうにしていると答えてもらっています。ご家庭のお子さんとの会話や様子から学校生活を楽しく過ごしていると感じておられるのではないかと推察します。しかし、その一方で、数値としては低いものの学校が楽しいとあまり思わないと答えている児童もわずかにいます。そのことを教職員は心に留め、日々の様子をていねいに見つめていきたいと考えます。



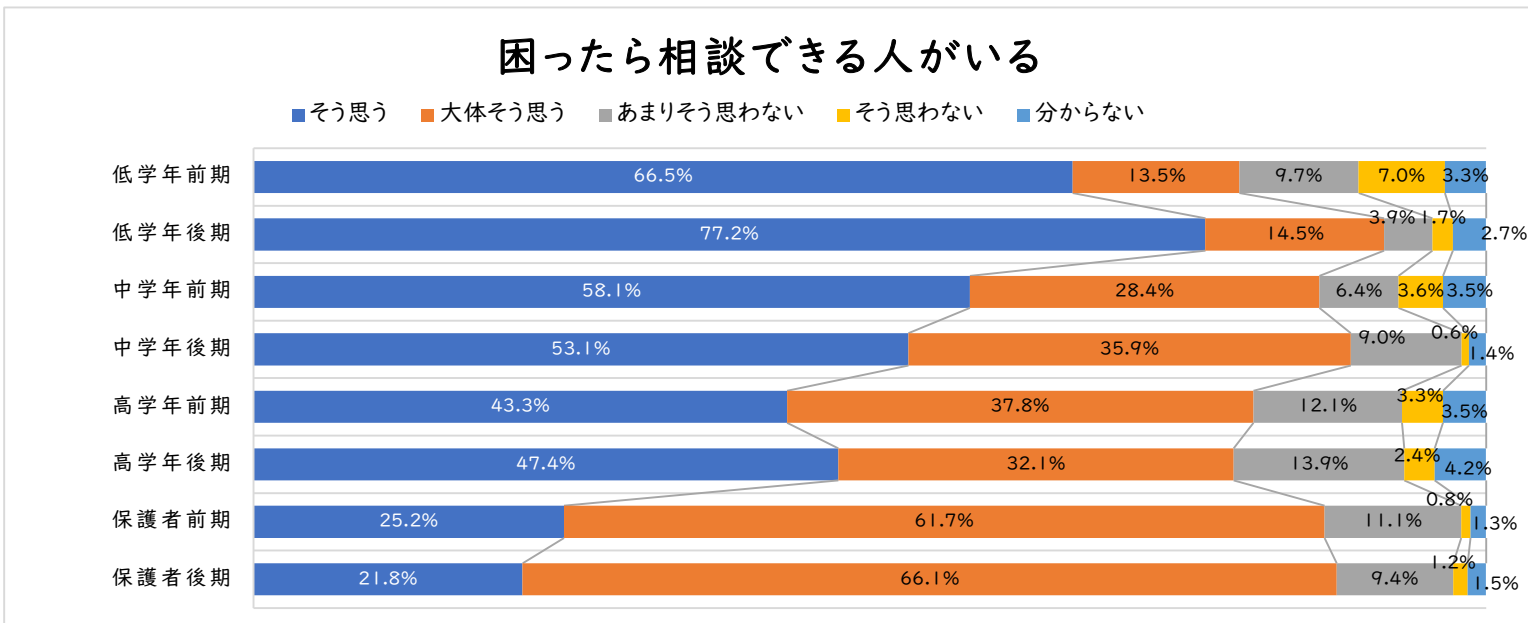
○元気のよいあいさつをする。

前期の学校評価と比較すると、全学年において元気のよいあいさつができていると答えている児童が増えています。計画委員会が取り組んでいるあいさつ運動の効果もあり、特に高学年の子どもたちの自己評価の数値がよくなっています。毎日の登下校で地域の皆様や保護者の皆様からも声掛けをいただいています。子ども達の中で自分からあいさつするという意識が高まってきているようです。いつでも気持ちのよいあいさつが相手に届くように意識するとともに、今後も保護者・地域の皆さんと協力しながら、子どもたちを見守っていければと思います。



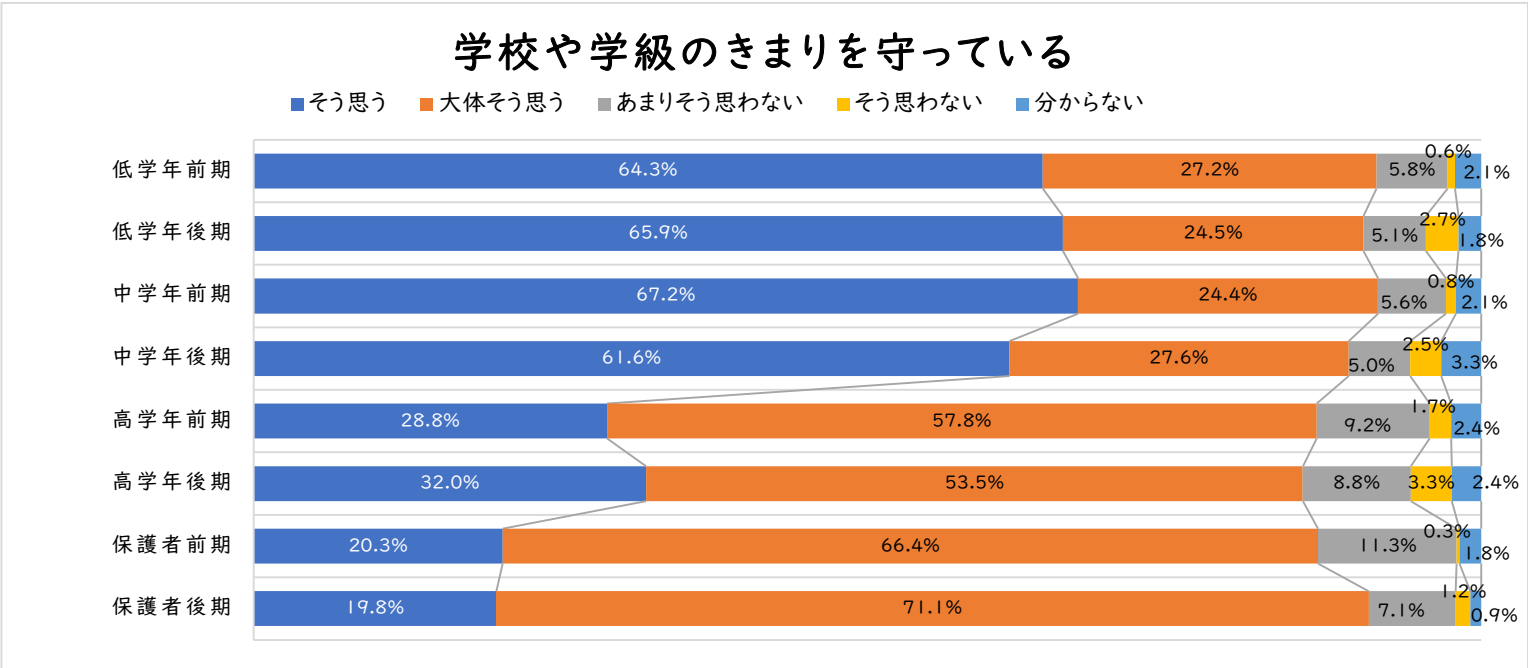
○困ったら、相談できる人がいる。

前期よりも低学年・中学年で数値が改善しています。多くの子どもたちが困ったことがあると、誰かに相談できているようです。一方、高学年の一部の子どもたちはなかなか相談しにくい部分も見受けられます。一人で抱え込まずに、だれもが気軽に相談できる雰囲気づくり・学級づくりを心掛けていきます。



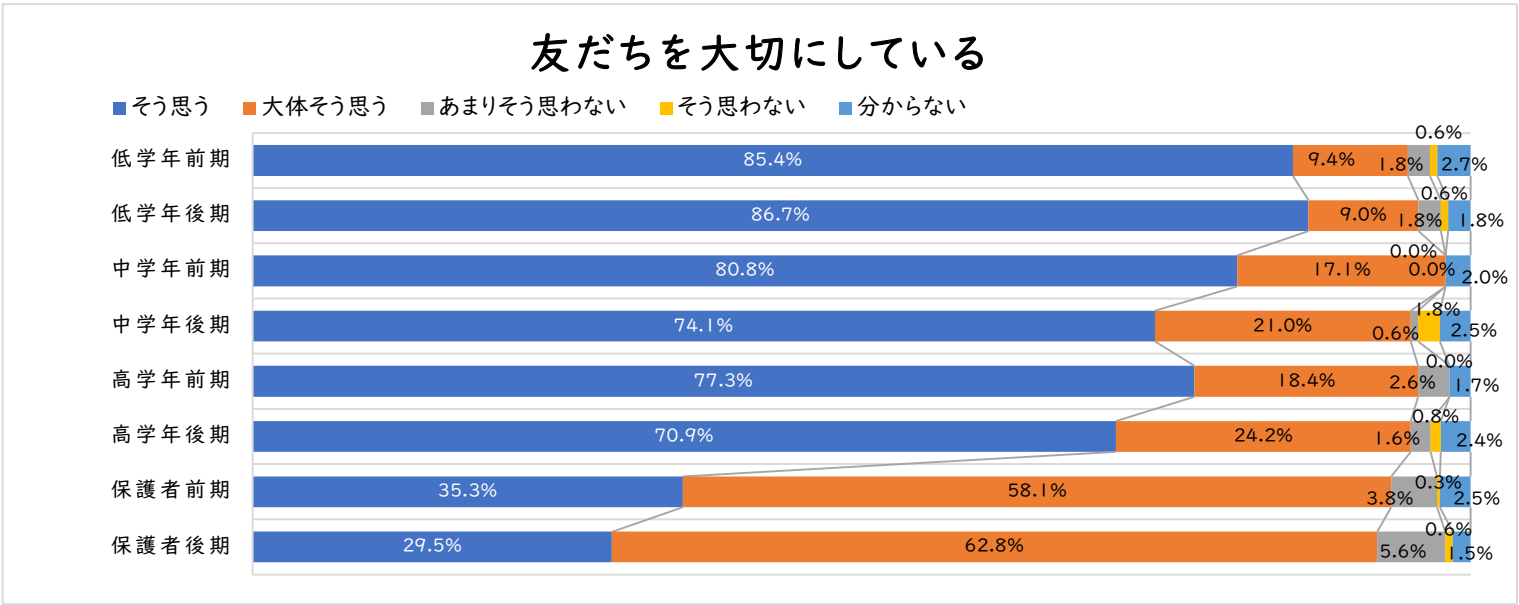
○学校やクラスのきまりを守っている。

前期と比較すると、低学年・高学年で「そう思う」と感じている子どもたちが増えているものの、中学年ではその数値が下がっています。また、きまりを守っているという質問に対して「そう思わない」と感じる児童の数値がどの学年も増えており、全体的に見てもきまりを守っていると答えている子の数値がどの学年もわずかに下がっています。学校生活の中できまりを意識して生活することは、とても大切なことです。小さな崩れを見逃さず、規範意識を向上させていけるように、指導を重ねていきます。



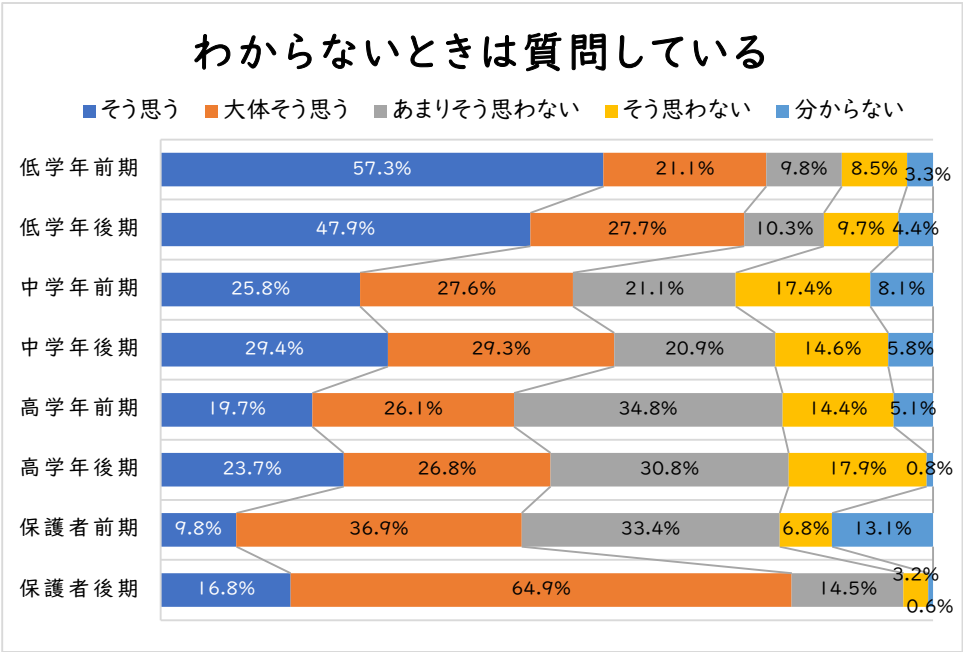
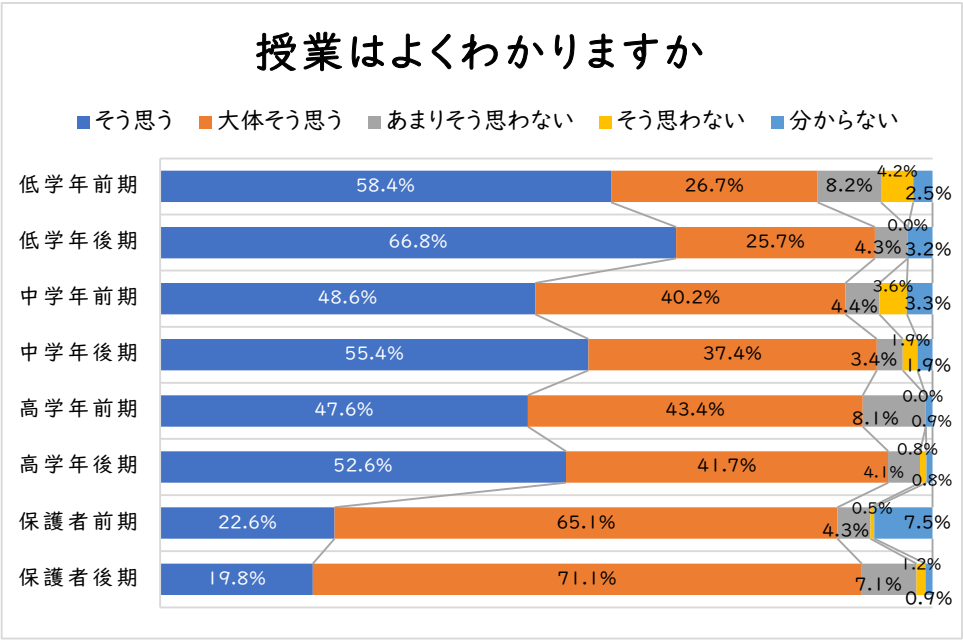
○友だちを大切にしている。

生活面で一番評価が高く、約 9 割の児童が大切にしていると答えています。しかし、前期と比べると若干数値が落ち込んでいます。学校生活を送る上で、友達 の存在を大切に し、お互いに心のつながりをより強くしていけるように取り組んでいきます。



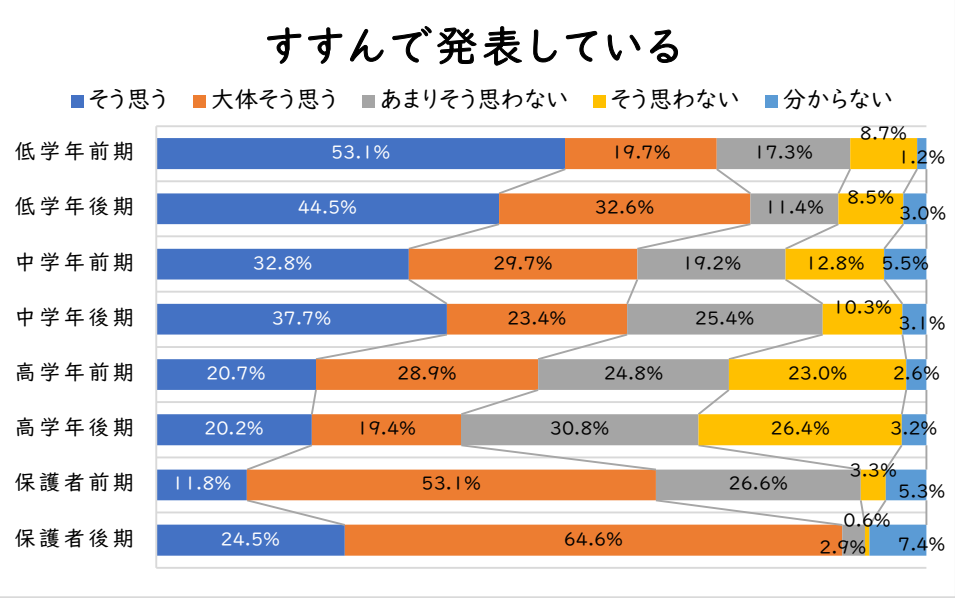
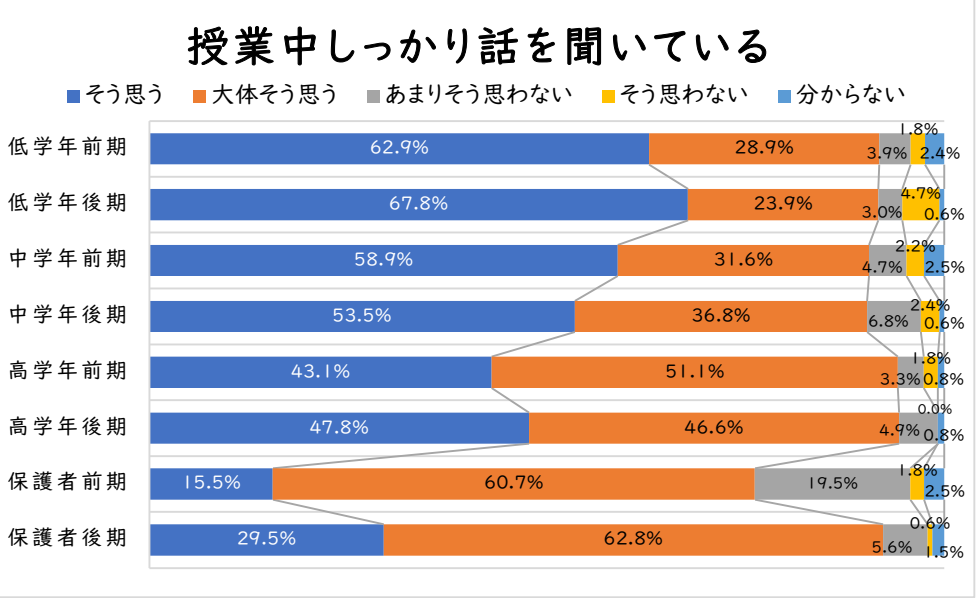
○授業はよく分かる。

前期から比べると、全学年子どもたちの数値がよくなっています。学校全体で取り組んでいる学び合い高め合うための授業改善や学習の進め方の定着、日々の学習が充実していることがうかがえます。今後も、教師として、子どもたちがわかる喜びを感じられる授業を、常に意識するとともに、基礎基本の習得を徹底し、確かな学力を身に付けられるようにしていきたいと考えています。



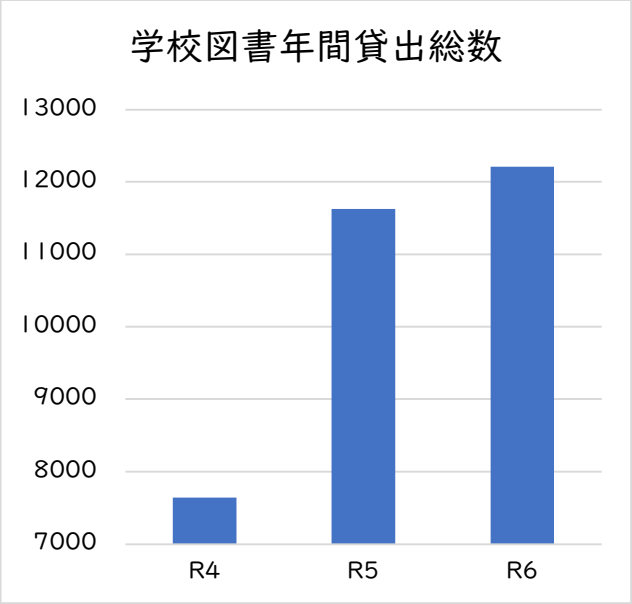
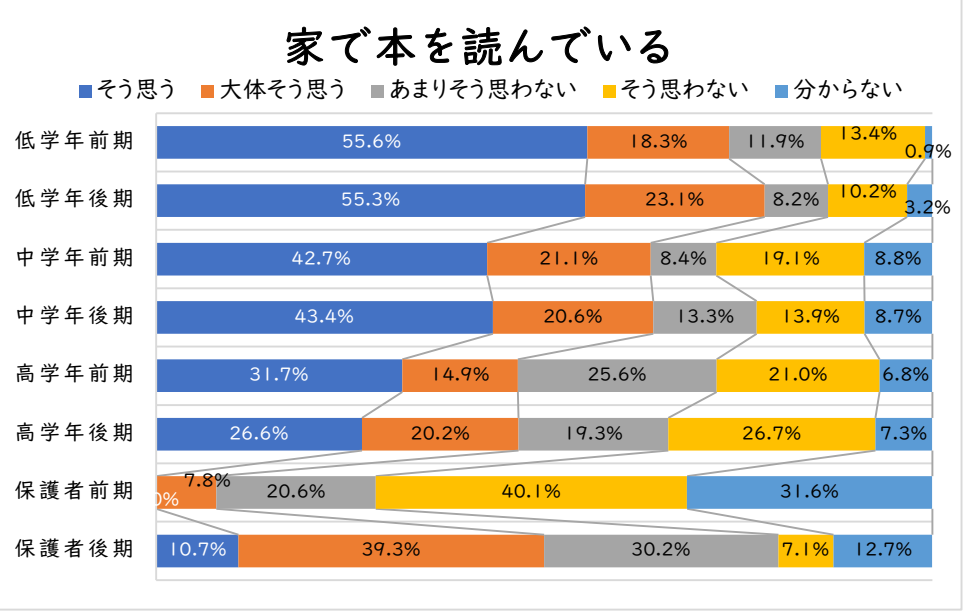
○人の話を聞く。進んで発表する。

「聞くこと」では、前期と比較すると後期もおおよそ9割の全校児童が、授業中は人の話を聞いていますかという質問に対して「そう思う」「大体そう思う」と前期同様高い意識をもって答えています。生活科や総合的な学習の時間を中心に、どの学年も『探求力』『話し合う力』の育成を目指して、日々の授業実践を重ねてきました。今後も高い意識をもって人の話を聞くことができるよう継続的に取り組んでいきます。また、「自分の思いを相手に伝えたり、全体場で発表をしたりすること」では、前期同様学年が上がるごとに数値が下がっています。今は恥ずかしさが先に立っていますが、自分の考えを相手に伝えたり、全体場で発表を重ねることで、表現することの良さに気づいたり、お互いの思考を進化させることに気づいたりすれば児童の姿も変化すると考えています。今後も表現する力を付けられるように授業を改善し、その充実に取り組んでいきます。



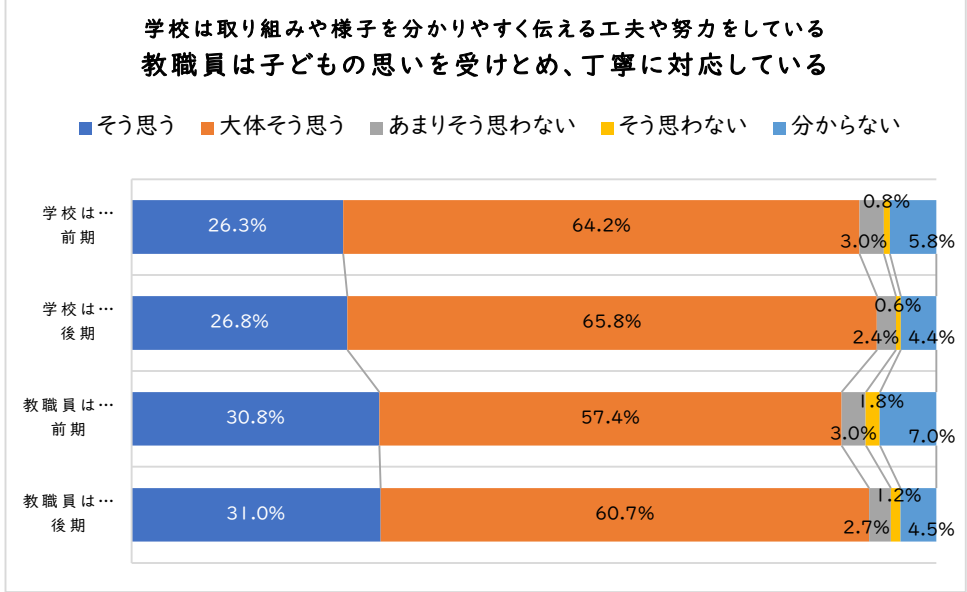
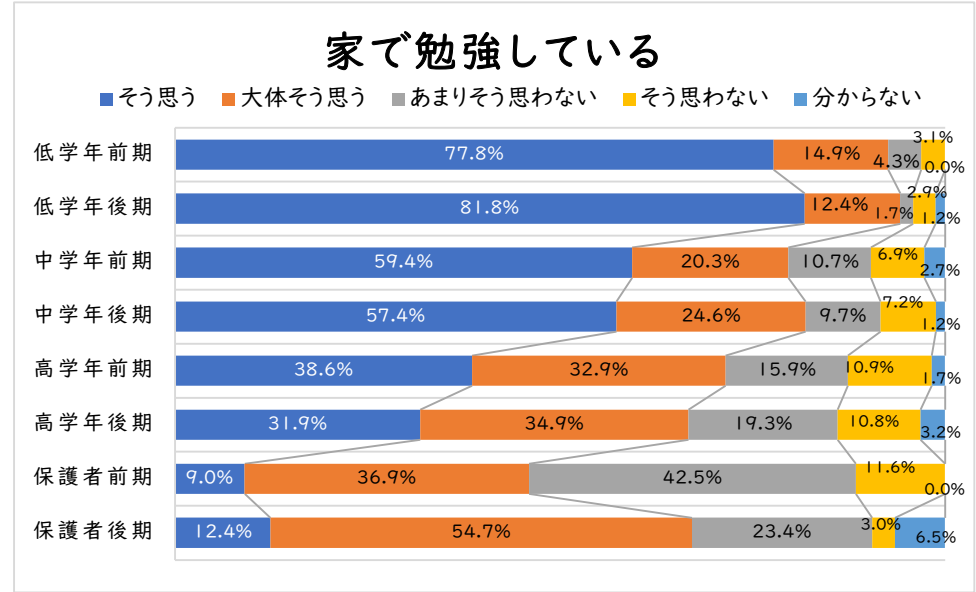
○家で本を読んでいる。

前期と比較すると低学年の数値がよくなっています。中学年・高学年は微増ではあるものの、学年が上がるごとに読んでいると自己評価する児童の数は減っています。家庭での読書の習慣化という面では、まだまだ課題が多いようです。娯楽の多様化、習い事等読書以外に時間をとられる状況もあるかと思ひます。読書は「心の栄養」とも言われ、本を読むことで、知識も広がり、語彙も増え、想像力を働かせることができます。学校でも、学校図書の利用数が増えるように、掲示の工夫、新図書の増加、読書週間などの取組を通して本と触れ合う機会を作ってきました。学校図書の貸出数は増えてはいるものの読書の習慣化までは至っていないようです。子どもたちが意欲的に読書に取り組めるように支援していきます。



○家で勉強している。

家庭学習について学校では、学年に応じて決まった量の宿題や自主学習を出すことで、家庭での学習の習慣化を図っています。前期と比較すると低学年・中学年では家で勉強していると答えている児童の数値は上昇しているものの高学年においてはその数値が下がっています。「自学自習の態度」をしっかり身につけるためにも「宿題や家庭学習の定着」を低学年のうちから身に付けさせていくことはとても大切だと思います。同時に、学習時間を確保するため、「基本的な生活習慣」「時間を守る」「決めたことは守る」など学校でも粘り強く指導していきます。ご家庭でも引き続きご協力よろしくお願いします。



【家庭でのよい取組やご意見・ご感想】 … 保護者記入欄からの抜粋です。

挨拶・礼儀

- 挨拶 ●あいさつ、時間を守ることを意識する ●あいさつ、優しい声がけしてくれます ●あいさつはしっかりする様に言っています
- あいさつは必ずしうねと話しています ●あいさつを必ずしています ●ただいま、おはようと元気に挨拶ができる。本が好きでよく読んでいる。
- おはよう、ただいまなどの挨拶は毎日できている。手伝いもお願いすればやってくれます。
- 挨拶、礼儀はきちんとする。家族とたくさん会話をし、一緒に過ごす時間を持つ。自ら食事の手伝いや部屋の片付けをする。家族で共通の趣味を見つけて思いきり楽しむ。 ●挨拶ができるようになって、お手伝いも積極的にやってくれて助かっています ●挨拶とお礼はしっかり言うように！
- 挨拶は出来るだけする様に家庭でも伝えていきます。手伝いは毎日、助かる程にやってくれてはいます ●手伝い、挨拶
- 挨拶は必ずその人の顔を見て!でないと伝わらないよと教えています ●挨拶や自分の思いを言えるようになってきたと思います。
- 人の基本は挨拶であることは伝え続けていますが、なかなかできない。朝起きたらおはよう、寝る前はおやすみ、ご飯が出てきたらいただきます、食べたらごちそうさまでした。そういう言葉が当たり前に出てくるように育ってほしいですね。
- 地域の人への挨拶はしています。読書も時間は長くはないですが、読もうという意思はあるようです。
- 友達に対して、ありがとうなどの挨拶ができているのかどうか気になっています。

お手伝い

- 学校での調理実習の授業以降、家で、レシピを調べながら週に1.2回、1品父と一緒に作ってくれています。お弁当も作れるようになってくれると嬉しいです。
- 料理をしてくれます。お米を研ぐのが上手です ●料理を引き続きお願いしております。お米も丁寧にといってくれます。
- 3年生になって、よくお手伝いをしてくれるようになりました。最近では、こちらから頼まなくても、声をかけてくれます。 ●お皿を下げる、お風呂の用意をする
- お手伝い ●お手伝いを良くしてくれます ●お小遣い目的もありますが良く自分からお手伝いしてくれます。
- お風呂入れることとタオルたたみをしてもらっています。 ●お料理など色々お手伝いしてくれます。 ●家事の手伝いをたまにだが積極的にしてくれる
- 家事手伝い ●家事手伝い、弟の面倒をみる、1人で電車やバスに乗ったり自分のことは自分でできる
- 給食エプロンを自分でアイロンがけして準備している。
- 玉子焼きを焼くなど、ご飯のお手伝いをしてくれるようになってとても嬉しいです。帰りが遅いので凄く助かります。
- 継続する力がきちんとついてきたなと思います。お手伝いは時間的になかなか難しいですが、ゴミ捨てなど、短時間で出来ることは嫌がらずしてくれています。
- 最近料理の手伝いをしたりします。 ●手伝いは少しずつですが、毎日頑張ってくれています。 ●手伝いをよくしてくれます
- 自分が使ったお箸やコップ、お皿などの洗い物を手伝ったり、お風呂掃除をしてくれます。弟(4ヶ月)をあやして、母を助けてくれています。
- 洗濯物をたたむ。 ●妹、弟の面倒やお手伝いをしてもらってます ●毎日お手伝いに、夕飯での会話、兄弟のお世話をしてくれて助かっています。
- 毎日お手伝いにたまに料理をしたり、兄弟のお世話などしてくれて助かっています。 ●毎日すすんでお手伝いしてくれています。
- 毎日簡単なお手伝い ●中学に向けて料理を作れるようになりました。

生活習慣・宿題

- 規則正しい生活 ●給食のナプキンを出して次の日の新しいのを用意し、服も準備し、朝、さっと行ける様に最近しっかりできる様になって来ました
- 自分で出来ることは自分です。色々なことにチャレンジしてみる。 ●毎日の生活習慣
- 生活しらべをきっかけに子供自身で動画の視聴時間のルールを決めて守るように心がけている。
- 帰ってきたら、一番に宿題をする習慣が身についた。声をかけられなくても、宿題や次の日の準備を自分でしている。
- 宿題を先にしてから、遊ぶようにしている。門限は守る。
- 塾での勉強と、塾の宿題以外にも自分で決めたストレッチと筋トレも続けています。

読書

- お試して「10分で読める伝記」を購入してみたら、内容が面白かった様で、10分シリーズをほぼ毎日読む様になった。読んだ後はどの様なお話だったのか話してもらっています。
- 家庭での取り組みは、夜寝る前に父親が子どもに本を読んであげてます。手伝いは本人がしたい時にしてもらってます。
- 寝る前の読書 ●読書 ●読書により興味をもってもらうために親も一緒に同じ時に読んでみようと思います。
- 本が好きで毎週図書館で借りています。そのおかげか、難しい言葉を知っていたりします。 ●毎日、漫画に限らず児童書も読んでいます。

家族とのコミュニケーション

- 1日の出来事を聞いて色々話したりします。 ●家族の悪いところではなくいい所を見つける心がけをする ●会話
- 学校での出来事が聞けるような会話を心がけています。不安なことや悩んでいることがあった時、子ども自身が「どうすべきか？」を考えられるように一緒に解決策を考えるようにしています。 ●兄弟仲良くする ●言葉使いを丁寧にすることを心がけてます。 ●定期的に家族でミーティングしてます。
- 弟の遊び相手 ●妹や小さい子の面倒見が良い ●毎日の出来事を聞いたり、話してくれる時間を設けてます。

その他

- 気遣いができるやさしい ●気分屋で気分次第に行動するので良い取組はないかもです
- 担任から細かくご連絡や配慮があり、とても助かっています。子供も学校が楽しいといつも元気に登校してくれています。
- 担任の先生のお陰で、子供が楽しく学校へ通えています。ありがとうございます。
- 学校で使っている長男の時と違って、ノートやひらがな練習帳みたいなものを毎日持ち帰らないので、学校でどんな字を書いているのか、どこまで習っているのかが把握しにくい。

ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。

保護者の皆様には、学校行事などに来校していただき子どもたちの様子を見ていただきました。今後も、学級通信や学校ホームページなどで子どもたちの姿を通して、学校での様子を知っていただけたらと思います。これからも学校評価の内容を踏まえ、子どもたちの様子をていねいに見取りながら、保護者の皆様とともに教育活動を進めていきたいと思っています。今年度も本校教育にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。